



次の10年へ、製造業のパラダイムシフトにどう対応するか、皆様と一緒に考えていきます

株式会社プラリンクシニアコンサルタント 阿多誠介（産業技術総合研究所）



2010年 東京工業大学理工学研究科博士後期課程終了／博士(工学)

2010年 産業技術総合研究所入所

2020年 材料・化学領域研究戦略部研究企画室

2021年 化学プロセス研究部門 スマートフロープロセスG

2010年～2017年

(兼務)技術研究組合単層CNT融合新材料研究開発機構

2018年～2020年

(兼務)立教大学理学部客員教授

2019年～2020年

Fraunhofer IPA, Embed Researcher

専門領域

高分子複合材料、成形プロセス、ナノフィラー等

2011年に提唱されたIndustry4.0を端緒として、欧州のHorizon Europe、中国の中国製造2025など製造技術への大規模な開発投資により、製造技術のパラダイムシフトが起こりつつあります。

このような状況の中で、日本の優れたプラスチックの製造技術を10年、20年先にどう繋げていくのか。匠の伝承はどうすすめるべきか。その課題に対して皆様と一緒に考え、最適な解を見つけていきたいと思ひます。